

「よく学び 心ゆたかに やりぬく子」



開校22年目

新座小だより



埼玉県新座市新座 3-4-1 TEL 048-478-2760
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

令和7年度7月号
児童数：287名

「自分もよくて みんなもよい」

校長 小俣 優子



朝顔が咲き始めました。

相手意識をもつ

6月4日、5日に修学旅行に行きました。

歴史ある「日光」の地を訪れ、自然や文化、仲間とのふれあいを通して多くのことを学び、感じ取った2日間でした。

今年度、6年生は「相手意識」「気づきの行動」「切り替え」を大きなテーマとして両クラスとも取り組んでいます。修学旅行中にこの3つのテーマへの意識が高まっていると感じられる場面が多々見られました。他の観光客がいる場での行動、自分たちで考えて行動しようとする意欲、話を聞く際の気持ちの切り替えなど、一人一人の「周りを思う気持ち」がこれまで以上に大きくなったのではないかと思います。

先日行った「校内オリエンテーリング」でも、6年生が縦割り班のレクリエーションを一生懸命盛り上げたり、グループにいる下級生たちを気遣ったりする様子が見られました。こちらも下級生が楽しく過ごせるようにという相手意識をもって行動していた表れです。

行事は子供を成長させる絶好のチャンスです。特に普段と違ったメンバーや縦割り班の活動は、相手意識をもたせるよい機会となります。

今後も機を捉え、相手意識について発達段階に応じて考えさせていきたいと思います。



【学びの多かった修学旅行】

「自分の後の人も、気持ちよく」

7月のお話朝会で、トイレについて話しました。

掃除時間や放課後にトイレを確認してみると、流し忘れ、トイレトペーパーが長く垂れ下がっている、汚れがついたまま放置・・・など、あまり良いとは言えない状況にありました。

そこで、そういった状況の写真を児童に見せると、「汚い」「入りたくない」といった予想通りの反応が返ってきました。ではこんな風にならないためにどんなことに気を付けてトイレを使えばよいのかを考えさせ、その際に「自分の後の人が気持ちよく使えるようにしよう」という、ここでも相手意識をもつことの大切さを伝えました。



学校生活の中には、友達と一緒に使う場所や物がたくさんあります。トイレもそうですし、流し、教室、図書室、ボール、本・・・など様々です。それらを「みんなのもの」として大切に扱うには、「自分さえよければいい」ではなく「自分も気持ちよく、周りの人も気持ちよく過ごせる(使える)行動」が大変重要になります。そしてこのことは、「人を思いやる心をもつ」ことにつながっていきます。

ご家庭でも、日常生活の中、また外に出かけた際などに「相手がどう感じるかな?」といった相手意識をもつ問いかけをしてみてください。

「自分もよくて、みんなもよい」を合言葉に、学校と家庭が連携して思いやりのある子供を育てていきたいと思っています。よろしくお願いします。